

令和4年第3回八千代町議会定例会会議録（第2号）

令和4年9月8日（木曜日）午前9時02分開議

本日の出席議員

議長（5番）	大里 岳史君	副議長（4番）	増田 光利君
1番	谷中 理矩君	2番	関 眞幸君
3番	安田 忠司君	6番	廣瀬 賢一君
7番	上野 政男君	8番	中山 勝三君
10番	大久保 武君	11番	水垣 正弘君
12番	小島 由久君	13番	宮本 直志君
14番	大久保敏夫君		

本日の欠席議員

9番 生井 和巳君

説明のため出席をしたる者

町 長	野村 勇君	副 町 長	古宇田信一君
教 育 長	赤松 治君	会 計 管 理 者	富永 浩君
秘 書 公 室 長	宮本 克典君	総 務 部 長	大里 斉君
企画財政部長	馬場 俊明君	保健福祉部長	生井 好雄君
産業建設部長	鈴木 衛君	総 務 課 長	中川 貴志君
税 務 課 長	古沢 朗紀君	まちづくり 推 進 課 長	斉藤 典弘君
財 務 課 長	倉持 浩幸君	福 祉 課 長	市村 隆男君
長寿支援課長	生井 億之君	国民年金課長	岩坂 信幸君
都市建設課長	宮本 正巳君	上下水道課長	青木 讓君
農業委員会 事 務 局 長	諏訪 敦史君	教育次長兼 学校教育課長	小林 由実君
総務課主査	前野 晃一君	財 務 課 補 佐	山口富実子君
代表監査委員	斉藤 実君		

議会事務局の出席者

議会事務局長 川村 俊之 補 佐 菊 佐知子
主 査 山中 昌之

議長（大里岳史君） 引き続きご参集くださいます、誠にありがとうございます。

ただいまの出席議員数は13名であります。よって、定足数に達しておりますので、これから本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元に配付のとおりであります。

（議長が了承を求めた議事日程は次のとおり）

議 事 日 程 （第2号）

令和4年9月8日（木）午前9時開議

- 日程第1 認定第1号 令和3年度八千代町歳入歳出決算の認定について
認定第2号 令和3年度八千代町水道事業決算の認定について
（提案理由説明、担当部長概要説明、質疑、常任委員会付託）
- 日程第2 報告第1号 令和3年度八千代町健全化判断比率等の報告について
- 日程第3 請願上程（常任委員会付託）
- 日程第4 休会の件
-

議長（大里岳史君） ここで、脱衣を許可します。

- 日程第1 認定第1号 令和3年度八千代町歳入歳出決算の認定について
認定第2号 令和3年度八千代町水道事業決算の認定について

議長（大里岳史君） 日程第1、認定第1号 令和3年度八千代町歳入歳出決算の認定について、認定第2号 令和3年度八千代町水道事業決算の認定について、以上2件を一括議題といたします。

朗読を省略して、提案理由の説明を求めます。

野村町長。

（町長 野村 勇君登壇）

町長（野村 勇君） 引き続きご苦労さまです。ただいま一括上程されました認定第1号 令和3年度八千代町歳入歳出決算の認定について及び認定第2号 令和3年度八千代町水道事業決算の認定についての提案理由をご説明申し上げます。

本案は、令和3年度八千代町一般会計歳入歳出決算のほか、特別会計及び水道事業の決算について、地方自治法第233条第2項の規定により、令和4年8月5日、監査委員による決算審査を受けましたので、同条第3項及び地方公営企業法第30条第4項の規定により、議会の認定に付すものであります。

初めに、一般会計決算についてご説明申し上げます。令和3年度につきましては、新型コロナウイルス感染症の終息が見通せない状況下において、税収の確保、そしてふるさと納税の推進により自主財源を確保しながらも経常経費を対前年度比95%以内に抑制し、事業の必要性、優先順位を的確に把握する努力に努め、第6次総合計画に基づく重要施策等を執行いたしました。また、新型コロナウイルスワクチン接種事業や新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業などの実施により、感染拡大防止対策及び緊急経済対策等に積極的に取り組んでまいりました。

以上のことから、歳入総額は97億6,057万9,864円、歳出総額は90億783万2,057円、歳入歳出差引額7億5,274万7,807円を令和4年度に繰越しいたします。

以上が一般会計の決算の概要でございます。

次に、国民健康保険特別会計決算についてご説明申し上げます。国民健康保険の被保険者につきましては年々減少しており、1人当たりの課税所得及び税収は前年度に比べ増加はいたしましたが、医療の高度化、先端技術の導入等による医療費の増加が予想され、当町における国保の財政運営は依然として厳しい状況下にあります。このため、医療費の適正化や被保険者の健康増進を目指して、特定健康診査、特定保健指導等の健康づくり事業を積極的に推進しながら、適正かつ効率的な事業運営と財政基礎の安定化に努めてまいりました。

以上のことから、歳入総額は28億6,874万2,289円、歳出総額は26億9,578万3,615円、歳入歳出差引額1億7,295万8,674円を令和4年度に繰越しいたします。

以上が国民健康保険特別会計決算の概要でございます。

決算につきましては、令和4年8月19日に八千代町国民健康保険運営協議会に諮り、ご了承をいただいていることをご報告申し上げます。

次に、後期高齢医療特別会計決算についてご説明申し上げます。令和3年度は、年々

増加する医療費の抑制及び被保険者の健康管理のため、関係機関との業務連携を図り、健康診断事業を推進しました。また、被保険者間の公平性を保つための保険料の収納対策に取り組みました。

以上のことから、歳入総額は2億3,673万3,122円、歳出総額は2億3,135万7,179円、歳入歳出差引額537万5,943円を令和4年度に繰越しいたします。

以上が後期高齢者医療特別会計決算の概要でございます。

次に、介護保険特別会計決算についてご説明申し上げます。本町の高齢化率は30%を超え、高齢者を取り巻く社会環境が厳しさを増しております。介護保険制度は、地域の高齢者を支える重要な制度として、増加する要介護認定者へより適切な介護福祉サービスの提供を行っております。

以上のことから、保険事業勘定の歳入総額は19億5,171万5,265円、歳出総額は18億603万916円、歳入歳出差引額1億4,568万4,349円を令和4年度に繰越しいたします。

また、介護サービス事業勘定の歳入総額は528万1,386円、歳出総額は456万6,496円、歳入歳出差引額71万4,890円を令和4年度に繰越しいたします。

以上が介護保険特別会計決算の概要でございます。

次に、八千代中央土地区画整理事業特別会計決算についてご説明申し上げます。この事業は、町の中心地区にふさわしい健全な市街地の造成を図るべく、家屋移転や都市計画道路、区画道路の築造工事等を実施するものであります。令和3年度の歳入といたしましては、事業収入の保留地処分金、国庫補助金、町からの繰入金及び繰越金、町債であります。歳出では、補償、補填及び賠償金と工事請負費で約5割を占めており、その他では公債費、総務費、委託料となっております。

以上申し上げました事業の決算でございますが、歳入総額は1億2,901万1,477円、歳出総額は1億2,181万2,289円、歳入歳出差引額719万9,188円を令和4年度に繰越しいたします。

以上が八千代中央土地区画整理事業特別会計決算の概要でございます。

次に、農業集落排水事業特別会計決算についてご説明申し上げます。令和3年度は、供用を開始しております既存施設の維持管理業務を実施いたしました。

以上のことから、歳入総額は2億8,691万4,256円、歳出総額は2億8,120万5,369円、歳入歳出差引額570万8,887円を令和4年度に繰越しいたします。

以上が農業集落排水事業特別会計決算の概要でございます。

次に、下水道事業特別会計決算についてご説明申し上げます。令和3年度の事業につきましては、公共下水道事業において伊勢山地区の4.15ヘクタールを整備し、八千代中央地区、伊勢山地区の一部3.05ヘクタールにおいて供用を開始しております。

以上のことから、歳入総額は4億4,709万2,244円、歳出総額は4億3,176万5,557円、歳入歳出差引額1,532万6,687円を令和4年度に繰越いたします。

以上が下水道事業特別会計決算の概要でございます。

続きまして、認定第2号 令和3年度八千代町水道事業決算の提案理由をご説明申し上げます。令和3年度の業務内容は、新規加入が96戸、年度末給水戸数は6,233戸でございます。また、年間有収水量は169万5,416立方メートルで、前年度比0.9%の減となっております。

以上のことから、3条予算の収益的収入は4億8,796万5,863円、支出は3億1,764万8,746円、損益計算書に示される純利益は1億5,964万9,595円となりました。

4条予算の資本的収入はなく、支出については1億2,762万5,805円、支出に対して不足する1億2,762万5,805円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額1,065万4,503円、過年度分損益勘定留保資金7,639万7,972円、当年度分損益勘定留保資金4,057万3,330円で補填いたしました。

以上が令和3年度八千代町水道事業決算の概要でございます。

以上、令和3年度八千代町歳入歳出決算及び八千代町水道事業決算の提案理由をご説明申し上げましたが、各会計の詳細につきましてはこの後各部長より説明があります。原案のとおり認定くださいますようお願い申し上げます、説明とさせていただきます。議長（大里岳史君） ここで、決算及び健全化判断比率等の審査の結果について、監査委員から報告を求めます。

齊藤代表監査委員。

（代表監査委員 齊藤 実君登壇）

代表監査委員（齊藤 実君） ただいま議長からご指名がございましたので、ご報告申し上げます。

去る8月5日、町長より要請を受けまして、関係者の出席を求め、決算及び健全化判断基準等の審査を実施いたしました。

初めに、令和3年度八千代町歳入歳出決算の審査結果についてご報告申し上げます。令和3年度一般会計及び国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、介護保険特

別会計、八千代中央土地区画整理事業特別会計、農業集落排水事業特別会計、下水道事業特別会計、以上7件の決算並びに基金について、収支は諸規定に適合しており、正当であることを認めました。

次に、公営企業であります水道事業決算の審査結果についてご報告申し上げます。令和3年度水道事業決算について関係書類の審査をしたところ、収支は諸規定に適合しており、正当であることを認めました。

次に、健全化判断比率等の審査結果についてご報告申し上げます。令和3年度健全化判断基準比率等の審査について算定書類の審査をしたところ、諸規定に適合し、正当であり、全ての比率において健全段階にあることを認めました。

なお、意見書につきましては、決算資料に添付をさせていただいておりますので、ご覧おきいただきたいと思っております。

以上をもちまして、決算審査の報告を終わります。

議長(大里岳史君) これより各会計の決算概要について関係部長より説明を求めます。

初めに、一般会計の決算概要の説明を求めます。

馬場企画財政部長。

(企画財政部長 馬場俊明君登壇)

企画財政部長(馬場俊明君) それでは、令和3年度一般会計歳入歳出決算の概要についてご説明いたします。

歳入歳出決算書の6ページ、7ページをお開き願います。令和3年度一般会計歳入歳出款別総括表によりご説明申し上げます。7ページの表の下、欄外にありますように、歳入決算額97億6,057万9,864円、歳出決算額90億783万2,057円で、翌年度に繰り越されます差引き残額は7億5,274万7,807円でございます。

次のページ、8、9ページをご覧ください。こちらは、令和2年度から令和3年度へ繰越明許されたものでございます。右側9ページの歳出の部をご覧ください。繰越事業の主なものを申し上げますと、3款民生費につきましては子ども・子育て支援整備事業、4款衛生費では新型コロナウイルスワクチン接種事業、8款土木費では町民公園長寿命化対策事業、10款教育費では八千代第一中学校体育館トイレ改修事業などが繰り越された事業でございます。なお、これらの事業に係る収入済額、支出済額は、先ほどの令和3年度決算額のほうに含まれてございます。

初めに、歳入の概要についてご説明いたします。10ページ、11ページをご覧ください。

1 款町税につきましては、調定額29億802万1,993円に対しまして、収入済額が28億1,013万9,843円でございます。収入済額を前年度と比較いたしますと、1.1%、2,932万3,822円の増となっております。歳入全体に占める割合、構成比は28.8%でございます。11ページの右から2列目、こちらに収入未済額の欄がございます。1 款町税関係で7,815万9,117円でございます。その左隣、不納欠損額2,099万4,983円につきましては町税関係の合計額でございますが、徹底した財産調査等を行った上で、今後も納付が見込めないもののみを法律に従い、欠損処理をしたものでございます。収納率は97.3%でございます。

7 款の地方消費税交付金につきましては、収入済額4 億9,045万9,000円で、対前年度比8.4%、3,781万5,000円の増となっております。構成費は5.0%でございます。

12、13ページをご覧ください。12款地方交付税の収入済額は20億4,718万円で、対前年度比20.1%、3 億4,290万9,000円の増となっております。構成比は21%でございます。このうち普通交付税では、基準財政需要額において臨時経済対策費及び臨時財政対策債償還基金費が追加されたことにより、対前年度比21.4%、3 億4,229万円の増となっております。なお、そのうち臨時財政対策債償還基金費の1 億819万3,000円は、減債基金に積み立てております。

14款分担金及び負担金の収入済額は2,700万8,340円でございます。対前年度比2.5%、64万8,946円の増となっております。収入未済額の27万3,000円につきましては、教育・保育利用者負担金（保育料）でございます。

16款国庫支出金、収入済額18億1,999万8,962円は、対前年度比48.1%、16億8,441万3,910円の減となっております。こちらは、令和2年度の特別定額給付金事業費補助金の皆減が主な要因でございます。構成比は18.7%でございます。

17款県支出金、収入済額6 億4,365万3,641円は、対前年度比で0.4%、229万5,980円の減となりました。これは、各種選挙による委託金の増額があったものの、地域企業応援事業費補助金の皆減などにより、補助金の減額が大きかったことによるものでございます。構成比は6.6%でございます。

19款寄附金の収入済額につきましては4 億2,893万1,115円で、一般寄附金とふるさと納税寄附金の合計額になります。対前年度比で141.5%、2 億5,133万6,115円の大幅増となっております。要因は、ふるさと納税寄附金の増額によるものでございます。構成比は4.4%になります。

21款繰越金 4億7,941万5,345円につきましては、対前年度比45.7%、1億5,035万5,061円の増となりました。予算と比較しまして町税収入が増額となったこと、町有地売払いによる財産収入や民生費過年度収入などの臨時的な収入が増えたことが主な要因となっております。構成比は4.9%でございます。

22款諸収入の1億8,770万1,444円につきましては、対前年度比13.7%、2,971万7,108円の減となりました。収入未済額の37万5,230円につきましては、給食費の個人負担金の未納分となっております。

14、15ページをご覧ください。23款町債につきましては4億6,036万6,000円で、対前年度比2.7%、1,193万4,000円の増となりました。これは、各種事業債においては減額となっているものの、臨時対策債の増額により微増となったものでございます。構成費は4.7%でございます。

歳入の合計欄、調定額が98億5,911万244円で、収入済額97億6,057万9,864円、不納欠損額2,099万4,983円、収入未済額7,880万7,347円でございます。

以上が歳入の概要でございます。

令和3年度の歳入の特徴といたしましては、新型コロナウイルス感染症による影響が予想よりも少なく、町税が微増となったほか、地方交付税が基準財政需要額において臨時経済対策費及び臨時財政対策債償還基金費が追加されたことによりまして3億円を超える大幅な増額となったこと、ふるさと納税課の設置により積極的な事業推進が図られたことにより、寄附金が4億円を超えたことなどが挙げられます。

続きまして、一般会計の歳出の概要についてご説明をいたします。16、17ページをお開き願います。1款議会費の支出済額1億1,385万670円につきましては、対前年度比1.8%、203万9,545円の増となりました。

2款総務費の支出済額22億6,379万9,463円につきましては、対前年度比42.0%、16億3,839万7,149円の大幅な減となりました。これは、特別定額給付金事業費の皆減によるものが主な要因でございます。

3款民生費の支出済額31億5,712万2,492円につきましては、子育て世帯及び非課税世帯等への臨時特別給付金事業費などの増によりまして、対前年度比で18.0%、4億8,251万9,743円の増となりました。3款民生費の翌年度繰越額9,959万2,000円につきましては、1項社会福祉費で住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金事業、これと2項児童福祉費のうち、保育士・幼稚園教諭等处遇改善臨時特例事業、放課後児童支援員

処遇改善臨時特例事業、子育て世帯への臨時特別給付金給付事業などがございます。

4款衛生費の支出済額6億1,389万7,678円につきましては、新型コロナウイルスワクチン接種事業費の増により、対前年度比28.7%、1億3,672万4,992円の増となりました。

6款農林業費の支出済額5億436万3,221円は、対前年度比1.8%、918万5,398円の減となりました。

7款商工費の支出済額5,507万9,578円は、対前年度比5.7%、296万8,494円の増となりました。

8款土木費の支出済額6億8,066万1,145円につきましては、町民公園長寿命化対策事業費の増により、対前年度比で19.3%、1億1,031万6,794円の増となりました。

9款消防費の支出済額3億5,913万5,281円は、対前年度比5.3%、1,992万4,463円の減となりました。

18、19ページをお開き願います。10款教育費の支出済額6億8,790万1,319円につきましては、GIGAスクール構想事業費及び小学校トイレ改修事業費の減、旧給食センター解体事業費の皆減などによりまして、対前年度比38.1%、4億2,341万7,172円の減となりました。

12款公債費、支出済額5億7,202万1,210円は、対前年度比1.4%、764万2,316円の増となりました。これは、平成12年に借入れをした中結城公園整備事業債や臨時地方道路特定事業債などの償還完了があったものの、平成29年度借入れの臨時財政対策債などの元金償還金の開始が大きな要因でございます。

歳出額の合計は90億783万2,057円でございます。翌年度繰越額の合計1億480万9,000円は、令和4年度に繰り越される額となります。

かなり飛びますけれども、154ページをお開き願います。実質収支に関する調書でございます。歳入総額が97億6,057万9,000円、歳出総額が90億783万2,000円、歳入歳出差引額は7億5,274万7,000円でございます。翌年度へ繰り越すべき財源はございませんので、実質収支額は同額の7億5,274万7,000円となります。

また、決算書の巻末、308ページから314ページには財産に関する調書も記載されてございます。こちらは、後ほどご覧お願います。

令和3年度の歳出の特徴といたしましては、新型コロナウイルス感染拡大への対策として実施されました子育て世帯や住民税非課税世帯等への臨時特別給付金事業により、民生費並びに扶助費が大幅に増額となったこと、新型コロナウイルスワクチン接種事業

費の増額や地方創生臨時交付金として家庭、事業者への支援、小中学校の学習環境の整備、住民サービス提供の環境整備、公共空間の安全確保及び感染防止対策などに取り組んだことが挙げられます。

以上が令和3年度一般会計歳入歳出決算の概要でございます。ご審議のほどよろしくお願いいたします。

議長（大里岳史君） 次に、国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計及び介護保険特別会計の決算概要の説明を求めます。

生井保健福祉部長。

（保健福祉部長 生井好雄君登壇）

保健福祉部長（生井好雄君） それでは、国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計及び介護保険特別会計歳入歳出決算の概要についてご説明を申し上げます。

初めに、国民健康保険特別会計についてご説明申し上げます。令和3年度の国保の加入状況につきましては、平均世帯数は3,848世帯で、前年度より111世帯の減少、平均被保険者数は6,844人で、前年度より257人の減少でございました。

それでは、決算の概要についてご説明を申し上げます。決算書の156、157ページをお開き願います。まず、歳入歳出決算の総括でございますが、157ページの欄外をご覧ください。歳入決算額が28億6,874万2,289円、歳出決算額が26億9,578万3,615円となり、差引き残額は1億7,295万8,674円でございます。

次のページ、158、159ページをお開き願います。歳入からご説明を申し上げます。1款国民健康保険税は、調定額9億9,985万507円に対しまして、収入済額は8億4,786万1,142円でございます。収入済額を前年度と比較いたしますと、303万2,360円、0.3%の増でございます。収納率を申し上げますと84.8%で、前年度と比較しまして2.46%の増加となりました。国保税につきましては、収入全体の29.56%、およそ3割を占めているものでございます。不納欠損額につきましては2,746万4,447円で、前年度と比較しまして120万1,739円の増となっております。収入未済額につきましては1億2,453万2,718円で、前年度と比較しまして3,045万1,639円の減となっております。

続いて、5款県支出金の収入済額につきましては17億1,419万6,190円でございます。前年度より2,785万7,800円、1.6%の減でございます。こちらは、収入全体のおよそ6割、59.75%を占めておりまして、主に医療給付費に関わるもので、医療保険給付に必要な費用について県から町に交付されるものでございます。

7 款繰入金は 1 億 8,135 万 2,000 円で、一般会計などからの繰入れでございます。

8 款繰越金につきましては 1 億 869 万 3,071 円で、令和 2 年度からの繰越金でございます。

9 款諸収入は 1,617 万 1,643 円でございます。

恐れ入ります、160、161 ページをお開き願います。続きまして、歳出について申し上げます。1 款総務費は 4,835 万 6,801 円で、主に職員 6 人分の人件費、通信運搬費、国保連合会への業務委託料などでございます。

2 款保険給付費は 16 億 7,991 万 3,062 円でございます。前年度より 3,113 万 2,315 円、1.82% の減少でございます。こちらは、支出全体の 62.32% を占めてございます。給付の金額は減少しておりますが、被保険者 1 人当たりになりますと 21 万 4,600 円で、前年度と比較いたしますと 5,800 円の増となっております。要因といたしましては、新型コロナウイルス感染症の影響で医療機関の受診を控えていた方が少しずつ回復しているのではないかとということが考えられます。

3 款国民健康保険事業費納付金は 8 億 8,640 万 7,202 円でございます。前年度より 3,809 万 7,475 円、4.12% の減でございます。こちらは、支出全体の 32.88% を占めておるところでございます。

5 款保健事業費は 2,366 万 6,560 円でございます。

6 款基金積立金につきましては、5,000 万円の積立てを実施いたしました。

7 款諸支出金は 743 万 9,950 円でございます。

ページが少し飛びまして、188 ページをお開き願います。実質収支に関する調書でございますが、歳入総額 28 億 6,874 万 2,000 円、歳出総額 26 億 9,578 万 4,000 円となり、歳入歳出差引額 1 億 7,295 万 8,000 円は令和 4 年度へ繰越しするものでございます。翌年度へ繰り越すべき財源はございませんので、実質収支額も同額となります。

続きまして、後期高齢者医療特別会計についてご説明を申し上げます。初めに、加入状況でございますが、令和 3 年度の被保険者数は 3,106 人で、前年度から 16 人の減少という状況でございます。

決算書の 190、191 ページをお開き願います。歳入歳出決算の総括でございますが、191 ページの欄外をご覧ください。歳入決算額が 2 億 3,673 万 3,122 円、歳出決算額が 2 億 3,135 万 7,179 円となり、差引き残額は 537 万 5,943 円でございます。

次のページ、192、193 ページをお開き願います。歳入からご説明を申し上げます。1

款後期高齢者医療保険料は、調定額が1億6,807万1,300円に対しまして、収入済額1億6,665万2,500円で、収納率としましては99.16%でございます。収入未済額を前年度と比較しまして、421万3,498円、2.59%の増でございます。こちらは、収入全体の70.4%でございます。不納欠損額につきましては10万2,300円、収入未済額は141万9,300円という状況でございます。

4款繰入金6,121万3,594円、こちらにつきましては事務費繰入金と保険基盤安定繰入金などでございます。こちらは、収入全体の25%を占めておるものでございます。

5款繰越金589万5,880円、こちらは令和2年度からの繰越金でございます。

6款諸収入は294万848円、このような状況でございます。

194、195ページをお開き願います。続きまして、歳出について申し上げます。1款総務費は1,182万4,385円でございます。職員1人分の人件費のほか、通信運搬費、健診業務委託料が主なものでございます。

2款後期高齢者医療広域連合納付金は2億1,943万3,694円でございます。こちらは、支出全体の94.85%を占めてございます。内訳としましては、保険料納付金、保険基盤安定納付金などでございます。こちらは、前年度と比較しまして530万6,238円、2.48%の増加となっております。

恐れ入ります、ページが少し飛びまして、204ページをお開き願います。実質収支に関する調書でございますが、歳入総額2億3,673万3,000円、歳出総額2億3,135万8,000円となり、歳入歳出差引額537万5,000円は令和4年度へ繰越しいたします。翌年度へ繰り越すべき財源はございませんので、実質収支額も同額でございます。

続きまして、介護保険特別会計についてご説明を申し上げます。令和3年度の要介護認定者数と第1号被保険者の状況等について申し上げます。要介護認定者は令和4年3月31日現在で943人でございます。このうちの第1号被保険者は927人、第2号被保険者が16人、このような状況となっております。また、第1号の被保険者数につきましては、令和4年の3月31日現在で6,659人でございます。

決算書の206、207ページをお開き願います。保険事業勘定の歳入歳出決算の総括でございますが、207ページの欄外をご覧ください。歳入決算額19億5,171万5,265円、歳出決算額18億603万916円、差引き残額が1億4,568万4,349円でございます。

次のページ、208、209ページをお開き願います。初めに、歳入についてご説明を申し上げます。1款保険料の調定額4億2,475万3,895円に対しまして、収入済額は4億

1,850万90円となります。収納率で申し上げますと98.53%でございます。収入済額を前年度と比較しますと、1,806万円、4.5%の増加となっております。こちらは、収入全体の21.44%という状況でございます。不納欠損額につきましては150万7,325円、収入未済額につきましては520万9,770円という状況でございます。

3款国庫支出金は3億8,369万1,037円で、介護給付費に対する国庫負担分が主なものでございます。収入全体の19.66%でございます。

4款支払基金交付金は4億5,235万円で、社会保険診療報酬支払基金より交付されるものでございます。収入全体の23.18%を占めております。

5款県支出金は2億6,754万8,811円で、介護給付費に対する県負担分でございます。収入全体の13.71%でございます。

7款繰入金の3億1,891万円、こちらは一般会計からの繰入金が主なものでございます。収入全体の16.34%でございます。

8款繰越金は1億997万9,444円で、令和2年度からの繰越金でございます。

9款諸収入は64万2,184円でございます。

210、211ページをお開き願います。続きまして、歳出について申し上げます。1款総務費は4,263万8,996円でございます。職員5名分の人件費や介護認定審査会負担金が主なものでございます。

2款保険給付費は16億1,788万6,790円で、こちらは支出全体の89.58%を占めておるものでございます。前年度と比較しまして、2,189万9,596円、1.37%の増加でございます。

4款地域支援事業費は6,842万129円でございます。

6款基金積立金につきましては6,000万円の積立てを実施したところでございます。

7款諸支出金は1,708万5,001円でございます。

ページが少し飛びまして、242ページをお開き願います。実質収支に関する調書でございますが、歳入総額19億5,171万5,000円、歳出総額18億603万1,000円となりまして、歳入歳出差引額1億4,568万4,000円は令和4年度へ繰越しするものでございます。翌年度へ繰り越すべき財源はございませんので、実質収支額も同額でございます。

続いて、サービス事業勘定についてご説明を申し上げます。決算書の244、245ページをお開き願います。歳入歳出決算の総括でございますが、245ページの欄外をご覧いただけます。歳入決算額528万1,386円、歳出決算額456万6,496円、差引き残額が71万4,890円でございます。

次のページ、246、247ページをお開き願います。初めに、歳入についてご説明を申し上げます。1款サービス収入の441万4,186円は、介護予防サービス計画費収入でございます。前年度と比較しまして28万493円、5.97%の減でございます。

2款繰越金は86万7,200円、令和2年度からの繰越金でございます。

次のページ、248、249ページをお開き願います。続いて、歳出について申し上げます。1款事業費369万9,496円は、介護予防サービス計画作成委託料でございます。前年度と比較しまして、12万8,704円、3.36%の減でございます。

2款諸支出金86万7,000円につきましては、保険事業勘定への繰出金でございます。

恐れ入ります、ページが少し飛びまして、254ページをお開き願います。実質収支に関する調書でございます。歳入総額528万1,000円、歳出総額456万7,000円となり、歳入歳出差引額71万4,000円は令和4年度へ繰越しをいたします。翌年度へ繰り越すべき財源はございませんので、実質収支額も同額となります。

以上、国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計及び介護保険特別会計の決算概要について申し上げましたが、ご審議のほどよろしくお願い申し上げます。

議長（大里岳史君） 次に、八千代中央土地区画整理事業特別会計、農業集落排水事業特別会計、下水道事業特別会計及び水道事業会計の決算概要の説明を求めます。

鈴木産業建設部長。

（産業建設部長 鈴木 衛君登壇）

産業建設部長（鈴木 衛君） それでは、産業建設部、令和3年度4事業予算の歳入歳出決算の概要につきましてご説明申し上げます。

初めに、令和3年度八千代中央土地区画整理事業特別会計の歳入歳出決算の概要につきましてご説明させていただきます。決算書の256、257ページの総括表をお開き願います。まず、決算の総括でございますが、右下の欄外をご覧ください。歳入決算額1億2,901万1,477円、歳出決算額1億2,181万2,289円で、差引き残額719万9,188円でございます。

それでは、歳入につきましてご説明させていただきます。258、259ページの歳入決算款別明細書をお開き願います。1款事業収入の収入済額419万6,295円につきましては、5区画分の保留地処分金でございます。

3款国庫支出金の収入済額2,643万円につきましては、第1工区の国庫補助金でありまして、社会資本整備総合交付金でございます。

5 款繰入金の収入済額6,616万2,000円につきましては、町一般会計からの繰入金でございます。

6 款繰越金の収入済額852万3,182円につきましては、前年度からの繰越金でございます。

8 款町債の収入済額2,370万円につきましては、土地区画整理事業起債分でございます。以上が歳入の概要でございます。

続きまして、歳出の主な支出済額についてご説明させていただきます。260、261ページの歳出決算款別明細書をお開き願います。1 款総務費の支出済額1,802万2,440円につきましては、職員の人件費が主な支出でございます。

2 款土地区画整理費の支出済額6,783万4,595円につきましては、第1工区、第2工区の事業費でございます。

3 款公債費の支出済額3,595万5,254円につきましては、起債長期債の元金と利子でございます。

268ページ、実質収支に関する調書をお開き願います。歳入総額1億2,901万1,000円、歳出総額1億2,181万2,000円、歳入歳出差引額719万9,000円、翌年度へ繰り越すべき財源はございませんので、実質収支額につきましては719万9,000円でございます。

これらにより、令和3年度の事業費ベースによる進捗率は第1工区が96.02%、第2工区が45.44%、全体で80.98%となっております。

続きまして、令和3年度八千代町農業集落排水事業特別会計の歳入歳出の決算概要につきましてご説明申し上げます。決算書の270、271ページの款別総括表をお開き願います。まず、決算の総括でございますが、271ページの欄外をご覧ください。歳入決算額2億8,691万4,256円、歳出決算額2億8,120万5,369円、差引き残額570万8,887円でございます。

272、273ページをお開き願います。それでは、歳入につきまして款別明細書の収入済額により主なものご説明を申し上げます。1 款分担金及び負担金160万円につきましては、農業集落排水事業費分担金、新規加入4件分でございます。

2 款使用料及び手数料7,246万8,278円につきましては、13処理施設の使用料で、現年度分と滞納繰越分でございます。

4 款県支出金836万円につきましては、中結城東部地区の平成28年度、29年度事業費に對しまして2%が交付されるものでございます。

6 款繰入金 1 億7,482万7,000円でございます。内訳といたしましては、一般会計からの繰入金及び基金からの繰入金でございます。

7 款繰越金955万133円につきましては、前年度からの繰越金でございます。

9 款町債2,010万円につきましては、資本費平準化債及び公営企業会計適用債でございます。

以上が歳入の概要でございます。

274、275ページをお開き願います。歳出の支出済額につきましてご説明申し上げます。

1 款農業集落排水事業費の支出済額は 1 億1,698万968円であります。農業集落排水事業管理費の支出済額は 1 億277万8,576円でございます。

公債費 1 億6,422万4,401円、長期債の元金分 1 億3,411万1,614円プラス長期債の利子分3,011万2,787円でございます。

286ページをお開き願います。実質収支に関する調書でございますが、歳入総額 2 億8,691万4,000円、歳出総額 2 億8,120万6,000円、歳入歳出差引額570万8,000円、翌年度へ繰り越すべき財源はございませんので、実質収支額も同額でございます。

続きまして、令和 3 年度八千代町下水道事業特別会計の歳入歳出の決算概要についてご説明申し上げます。288、289ページの款別総括表をお開き願います。まず、決算の総括でございますが、289ページの欄外をご覧ください。歳入決算額 4 億4,709万2,244円、歳出決算額 4 億3,176万5,557円、差引き残額1,532万6,687円でございます。

290、291ページをお開き願います。繰越明許費分でございますが、291ページの欄外をご覧ください。歳入決算額777万円、歳出決算額777万円、差引き残額ゼロ円でありまして、鬼怒小貝流域下水道建設負担金への繰越しでございます。

292、293ページをお開き願います。それでは、歳入につきまして款別明細書の収入済額により主なものをご説明申し上げます。1 款分担金及び負担金1,180万7,850円につきましては、受益者負担金の現年度分と滞納繰越分でございます。

2 款使用料及び手数料3,789万9,118円につきましては、下水道使用料の現年度分と滞納繰越分の手数料でございます。

3 款国庫支出金4,500万円につきましては、社会資本整備総合交付金でありまして、交付率は50%でございます。

6 款繰入金 2 億1,088万1,000円につきましては、一般会計からの繰入金でございます。

7 款繰越金1,355万4,984円につきましては、前年度からの繰越金でございます。

8 款諸収入364万7,212円につきましては、消費税還付金でございます。

9 款町債 1 億2,400万円につきましては、下水道事業に伴います起債でございます。

以上が歳入の概要でございます。

294、295ページをお開き願います。続きまして、歳出について支出済額よりご説明申し上げます。1 款下水道事業費の支出済額は 2 億3,481万5,804円でございます。翌年度への繰越額につきましては1,180万9,000円となります。

公債費の支出済額は 1 億9,694万9,753円でございます。内訳といたしましては、長期債の元金分、長期債の利子分となります。

3 款の予備費については、充用はございませんでした。

306ページお開き願います。実質収支に関する調書でございますが、歳入総額 4 億4,709万2,000円、歳出総額 4 億3,176万6,000円、歳入歳出差引額1,532万6,000円、翌年度へ繰り越すべき財源といたしまして繰越明許費繰越額90万9,000円でありますので、実質収支額につきましては1,441万7,000円でございます。

続きまして、八千代町水道事業決算の概要につきましてご説明申し上げます。決算書のほうは別冊になっておりますので、A 4 横つづり、令和 3 年度八千代町水道事業決算書をご覧願います。

表紙から 4 枚目、右下にページがございますが、1 ページ、決算報告書、(1) の収益的収入及び支出につきましてご説明申し上げます。収入の第 1 款水道事業収益でございますが、決算額は 4 億8,796万5,863円となりました。

営業収益は 4 億7,342万5,755円でございます。水道料金、量水器使用料、加入金、他会計負担金等でございます。

営業外収益は1,454万108円でございます。預金利息、長期前受金戻入、雑収入でございます。

2 ページをお開き願います。支出についてご説明申し上げます。第 1 款水道事業費用の決算額は 3 億1,764万8,746円でございます。

営業費用の主な内訳といたしまして、県水受水費、動力費、修繕費、委託料、人件費などで 3 億148万7,424円でございます。

営業外費用といたしましては1,616万1,322円でございます。費用の内訳としては、企業債利息、消費税でございます。

3 ページに移りまして、資本的収入及び支出につきましてご説明申し上げます。収入

の第1款資本的収入はございませんでした。

4ページをお開き願います。支出につきましてご説明申し上げます。第1款資本的支出の決算額は1億2,762万5,805円でございます。

内訳といたしまして、建設改良費は1億1,719万9,533円となっております。

企業債償還金は1,042万6,272円でありまして、10件分の企業債償還金元金でございます。

資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額1億2,762万5,805円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額1,065万4,503円、過年度分損益勘定留保資金7,639万7,972円で、当年度損益勘定留保資金4,057万3,330円を補填いたしました。

続きまして、財務諸表となります。5ページの令和3年度八千代町水道事業損益計算書をご覧ください。この計算書につきましては、消費税を含まない額で計算しておりますので、先ほどご説明いたしました決算報告書の額とは合致しませんので、ご了承願います。右側になりますが、6段目の経常利益及び下から4段目の当年度純利益におきましては1億5,964万9,595円でございます。黒字となります剰余金につきましては、建設改良積立金に積立いたします。

以上が産業建設部の令和3年度4事業決算の概要でございます。ご審議のほどよろしくいたします。

議長（大里岳史君） 以上で関係部長の説明を終わります。

暫時休憩します。

(午前10時12分)

議長（大里岳史君） 休憩前に戻り、会議を再開いたします。

(午前10時32分)

議長（大里岳史君） これから質疑を行います。

なお、本案は関係する常任委員会に付託する予定がありますので、質疑は要点のみ簡潔にお願いいたします。

質疑ありませんか。

14番、大久保敏夫議員。

14番（大久保敏夫君） 誰もいないようですから、代表してやります。

土木建設関係等含めた関係の人、あるいはまた教育関係の人の代表者で結構ですから、令和3年の決算が終わっているわけです。そういう中で、今の八千代の状況というのは予算が満ち足りて、全ての事業は消化しているかどうか、感想だけ聞かせてください。足りないというのか、十分ですよというのか、その辺のところ、感想でいいですから。あとはいろいろと問いませんから、あとは町長の話しするから、取りあえず皆さんで感想を聞かせてください。もうちょっと予算もらったほうがいいとか、もう十分だから、これで大丈夫ですよというのか、その辺のところをちょっと、教育長と、あと向こうは産業建設関係は誰だ。お二方から、議長、答弁もらいたいのですが。

議長（大里岳史君） 鈴木産業建設部長。

（産業建設部長 鈴木 衛君登壇）

産業建設部長（鈴木 衛君） 14番、大久保議員の質問に対して答弁させていただきたいと思います。

私の感想で言いますと、町道を見ていただくとお分かりになるかと思うのですが、今年は特に雑草とかが非常に繁茂していて、心苦しい状況であります。そういったものを少しでも改善すべく、職員なんか結構出て除草作業等もやっているのですが、正直追いつかない状態であると思っております。できるのであれば、そういったものを外部委託できるような予算をちょっと考えていただければありがたいかなというふうな感想であります。

以上です。

議長（大里岳史君） 赤松教育長。

（教育長 赤松 治君登壇）

教育長（赤松 治君） 大久保敏夫議員の質問にお答えいたします。

現在まで、学校教育においても様々なコロナ対策を実施させていただきました。また、学校の環境設備等の改修についても一中の体育館トイレ等を順次改善している状況ではあります。そういう意味では、非常に教育に関しても予算をいただきながら進められているというふうに思っています。ただ、今後、今話題になっています働き方改革、それからご存じのように部活動の地域移行等、大きな事業がございますので、そういったことに関してはさらに予算のほうをいただきながら進めていければというふうに思っております。どうぞよろしく願いいたします。

議長（大里岳史君） 14番、大久保敏夫議員。

14番（大久保敏夫君） 今突然のあれで、鈴木部長、あるいはまた教育長のほうからあったわけですが、町長、何を言いたいのかというと、基本的には最終締め予算の中で令和元年には3億2,900万円、令和元年がそれで、2年の場合には4億7,940万円、言わば繰り越していたわけ、前年余ったから、後にということ。今回本議案の中で今議決しようとする数字というのが7億5,200万円を超える数字が、もう決算で締められているやつだから、どこかに金があるわけでしょうけれども、その辺が特に7億五千二百何万円の中にはふるさと納税関連が4億円を超える数字がこの中に入って、なおかつまた私からすればふるさと納税そのものの、今回議会でも、昨日か、議決しましたけれども、ふるさと納税関連基金を積み立てて、こっち側へ置こうという話になるわけですが、私からすれば、少なくともふるさと納税のほうに積んだ事業をどうするかはまた別としても、少なくとも不用額は、不用額という大体2億円ぐらいで止めておいて、後々のための話ばかりしていないで、そのとき、そのとき生きる、今教育長がある学校の小学生、中学生はその時期しか生きられないわけで、あるいはまた道路関連なんかもその地域、地域にいる人らが町の言わば環境整備に対するあれに浴するような、環境というのをつくるあれで、この繰越金、先ほど言いましたように3億円、4億円、今度7億円と、その数字遊びで、うんとあればなのだが、町政がうまくいっているというか、かじ取りがうまいのだということではなくて、少なくとも私は2億円ぐらいで止めて、あとはそのとき、そのとき生きている環境にある人たちのところに使ってやるべきだというのが私の考え方しているのですが、ふるさと納税は4億円、突如湧いてきた数字ですから、またこれから努力されるというので5億円の数字があるかどうか、それは分かりませんが、そういう考え方が私にあるものですから、町長のお考え聞かせてもらえればと思うのですが。

議長（大里岳史君） 野村町長。

（町長 野村 勇君登壇）

町長（野村 勇君） ただいまの大久保敏夫議員の質疑にお答えをさせていただきたいと思えます。

この7億5,274万円という繰越金が出たわけでありますが、その内訳については私の後に企画財政部長のほうからどんな内訳でというのを説明させていただきたいと思えますが、繰越金に対しての考え方を私のほうから述べさせていただきたいと思っております。

今八千代町のほうは7億円という繰越金を今年度繰り越したわけでありますが、私としましては公約に申し上げましたとおり、財源の確保というのをやっていくよという形で種をまいてきた形であります。そして、ふるさと納税の推進、多くの事業については国県補助金、交付金を導入して自主財源をなるべく使わないようにする。そして、もう一つは行政改革と、このような形の方針の中でやってきたわけでございます。

今議員からおっしゃられましたように、あまり先のことばかり考えないで、今いる、生活している人たちにも利益を分ける、そういう考えがあってしかるべきという話がありました。まさに私もそのとおりという形で考えております。そしてまた、この先を見ますと、先を見た場合において子育て対策やグリーンビレッジ周辺整備事業、また旧中山邸の整備、そしてもうかる農業の土台づくり、また教育問題では小学校をはじめとする公共設備、あるいは公民館、プール、また道路などのインフラの整備、そしてまたデジタルの推進と、本当に先を見れば頭が痛くなるほど事業が山積みであるということですので、一方で現役世代の人たちに対する利益配分も考えながら、将来に向けての、将来といっても近い将来という形になりますが、向けての財源確保もにらんでいるという形になります。

そして、先ほどの産業建設部長のほうからありました道路問題につきましても、この間これは部長を交えて検討した形ではありますが、例えば今各行政区からの要求、要望が270か所ぐらいたまっているわけです。そして、それを順次やっていく。270を一気にやるわけにはいきませんので、順次計画的にこれはやっているわけなのですが、私はこれを一度整理すべきだというふうに思っているわけでありまして。というのは、一番古いものは恐らく10年ぐらい前の要望がまだ残っているということ、現実としてあるわけでありまして。そうしますと、では優先順位はどうなのかというのをやっぱり検討しなくてはならないという形になりますので、私としては一度行政区のほうに戻した中で、果たして本当に必要なのはどれか、緊急として必要なのはどれかというような精査をしていきたい。その上で実現していくべきであろうなというふうに思っているわけでありまして。

今年度につきましても12月の補正という中で、先ほど私が申し上げた事業の種をまく、あるいは現役世代について何かしらの利益を出すような、そういう事業も考えておりますので、私としましては今回も補正で出ささせていただきましたが、さらに12月の補正で仕事をつくっていききたい。第6次総合計画の中にある事業を実施してまいりたいというふうに思っていますので、額としては大久保議員がおっしゃるように八千代の財政規模

ですと大体3億円ぐらいが繰越金で妥当ではないのかなという考えは持っているということでございます。事業については、多くの方の意見、また議員の皆様のご理解を得ながら進めていくわけでありますが、なるべく貴重ないただいた財源を、これは皆様から町を住みやすい町にしてくれ、安定した町にしてくれという要望があっただいている財源でございますので、そのような使途に持っていきたいというふうに思っております。

答弁とさせていただきます。

議長（大里岳史君） 14番、大久保敏夫議員。

14番（大久保敏夫君） 今町長のほうからお答えをいただきました。私のほうで答弁が必要なければ私の感想なりでとどめても結構ですが、今町長のおっしゃられたこと、大体のみ込めてはきているのですが、ただ全体の見方として、各行政区も含めて、あるいはまた各人のその立場、立場で生きている人たちはそのときしかない。先ほども言いましたようにそのときしかその時代を過ごせないときを、町というのは少なくとも町と関わりある町ができるものはちゃんとしてやるべきだというふうに私は思います。

自分自身の中で、今回若者が運動公園で祭りというか、フェスティバルみたいのをやると。多分メインになるところは、あそこに運動公園の中に急勾配があるところにステージというか、舞台がかかっている。これ私二十数年前に、二十七、八年前にいばらきまつりを八千代町に持ってきてまして、知人を呼んで一大イベント、いばらきまつりを2年ぐらい後のところを繰り上げてもらって、いばらきまつりこっち来てもらって、あそこメインステージでやったのです。

あれから27年たって、あそこを一回として塗装をし直したとか、何かさびを取ったとか、そういう話は、私らもあそこ散歩したり運動関係で行ったりしていますけれども、今回になって初めて今若者がペンキ塗ったり、何かして取り繕ってやるみたいですが、ですからそういうものを含めた中で小中学校の子どもらの部分についても、あるいはまた、町長にこういう話言うと怒られるかもしれないけれども、63行政区のいろんな困ったこと、何かあるかといったときに、今回こういうこと言うと、そういうふうになっているのだから、今さら議会で恥かかせなくてもいいだろうということになるけれども、令和4年度の予算でできるものは、7つか8つあった行政区でここまでだと、残り4つは令和5年度だと、こういうふうになるわけです。

町から出してくれる金は二百何万円なのですが、3分の1補助ですから。その200万円

は後回しにされて、片側では7億5,000万円をこっちに積んでおくと、そういう物事が町長、微に入り細に入りというのは小さなことですけれども、そういうふうな感覚が行政区なり、子どもらなり、また道路行政も含めてその辺のところをお気遣いをいただいて、7億5,000万円がふるさと納税で、その中で4億幾ら、40%返礼品で返すから2億幾らぐらいになってしまうのでしょうかけれども、そういうことも含めていくと、私が異常に思ったのは、7億5,000万円を積み上げていって、片方でそういうことが起きるのだということ、私も委員会あしたやって、委員長報告で私のほうでは質問をできないし、あまりみんなに質問されては困るので、今私なりの気持ちを吐露したつもりで、返答は結構ですから、そういう気持ちの中で私はこの繰越金という金の性質というものを、今しか生きられない人間にはやっぱり今ちゃんとやってやってくれと、そういうことです。

以上です。答弁は結構です。

議長（大里岳史君） 13番、宮本直志議員。

13番（宮本直志君） 今のことに少し関連しているのですけれども、私もこの前監査ということでいろいろこの7億5,000万円に関して質問しまして、やっぱりいろいろな事情ですぐ使える金と残った金といろいろあるようで、さっき町長も言ったように、これの内訳を企画財政部長に言ってもらったらもうちょっと納得できる点もあるのではないかとというふうに思いますので、お願いします。

議長（大里岳史君） 馬場企画財政部長。

（企画財政部長 馬場俊明君登壇）

企画財政部長（馬場俊明君） 13番、宮本直志議員の質疑にお答えいたします。

今回の7億5,274万7,000円の繰越額の原因でございますけれども、まず歳出における執行率のほうは例年どおりで執行しておりますので、そちらのほうは大きな差はございませんが、今回の大きな要因といたしましては、歳入の予算額におきまして町税が予算よりも3億3,800万円、寄附金のほうで8,500万円、歳入よりも多いと、こちらが大きな原因となっております。また、この繰越金につきましては、今回の3号補正までで約3億2,000万円ほど、こちらの繰越金のほうから充てさせていただきまして、令和4年度のほうに使わせていただいているというような状況でございます。

また、もう一つ付け加えますと、令和3年度にコロナウイルスワクチンの接種対策事業、こちらで補助金のほうを10分の10、国のほうからやる前に概算で基準額で補助金が入ってきております。ただし、実施のほうは八千代町のほうは効率的に実施をしたとい

うことで支出額がそれほど、3年度もらった補助金よりも少ない額で支出しておりますので、こちらの繰越金の中から約1億円ぐらいを国庫補助金のほうを戻すような形で4年度はなる予定でございます。実績に合わせて補助金でもらったものも返すというのがこの中に入っているというようなことでございます。

以上でございます。

議長（大里岳史君） ほかにありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

議長（大里岳史君） これで質疑を終わります。

ただいま議題となっております認定第1号 令和3年度八千代町歳入歳出決算の認定について、認定第2号 令和3年度八千代町水道事業決算の認定については、お手元に配付の付託事項明細書のとおり各常任委員会に分割して付託したいと思います。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（大里岳史君） 異議なしと認めます。

よって、認定第1号 令和3年度八千代町歳入歳出決算の認定について、認定第2号 令和3年度八千代町水道事業決算の認定については、付託事項明細書のとおり各常任委員会に分割して付託することに決定いたしました。

日程第2 報告第1号 令和3年度八千代町健全化判断比率等の報告について

議長（大里岳史君） 日程第2、報告第1号 令和3年度八千代町健全化判断比率等の報告について提出されておりますので、ご覧おき願います。

日程第3 請願上程（常任委員会付託）

議長（大里岳史君） 日程第3、本日までに受理した請願は、お手元に配付いたしました請願・陳情文書表のとおり、所管の常任委員会に付託いたしましたので、ご報告いたします。

日程第4 休会の件

議長（大里岳史君） 日程第4、休会の件を議題といたします。

お諮りいたします。議事の都合により、明日9日より13日までは休会としたいと思います。

ますが、これにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

議長(大里岳史君) 異議なしと認めます。

よって、明日9日より13日までは休会とすることに決定いたしました。

議長(大里岳史君) 以上で本日の議事日程は全部終了いたしました。

次会は、14日午前9時より本会議を開きます。

本日はこれにて散会します。

(午前10時56分)